

# Guidewire.InsuranceSuite-Analyst.v2026-03-13.q23

試験コード : InsuranceSuite-Analyst  
試験名称 : Associate Certification - InsuranceSuite Analyst - Mammoth Proctored Exam  
認証ベンダー : Guidewire  
無料問題の数 : 23  
バージョン : v2026-03-13  
ページの閲覧量 : 103  
問題集の閲覧量 : 230

<https://www.jpnsshiken.com/shiken/Guidewire.InsuranceSuite-Analyst.v2026-03-13.q23.html>

## 質問: 1

ある保険会社のプロジェクトチームは、商業用不動産製品の導入において、インセプションフェーズからスプリントゼロフェーズに移行しています。重要なステップは、開発に向けて確定したユーザーストーリーカードを整理することです。インセプションフェーズの終了時には、\_\_\_\_\_に基づいてユーザーストーリーカードの作成プロセスが進められ、戦略的ビジネス目標との整合性が確保されます。

- A. 重要な決定ログ
- B. 要件の詳細化
- C. プロジェクトコミュニケーションマトリックス
- D. 包括的なテストスイート
- E. 変更管理戦略
- F. 概念的なスプリント計画

正解: F ([コメントを发表する](#))

Guidewire SurePathメソッドでは、インセプションからスプリントゼロへの移行は、計画と調整から実行準備への移行を表します。インセプションの最も重要な成果の一つは、今後の開発作業に向けて、確定したユーザーストーリーカードを整理し、準備することです。インセプションの最後に、ユーザーストーリーカードの構築と順序付けのプロセスは概念的スプリント計画に基づいて進められるため、選択肢Fが正解となります。概念的スプリント計画は、ビジネスの優先順位、依存関係、デリバリーマイルストーンに基づいて、ストーリーグループがいつ開発される予定かを示す高レベルのロードマップを提供します。この計画は、早期に段階的な価値を提供し、リスクを軽減する形でストーリーを順序付けることで、戦略的ビジネス目標との整合性を確保します。詳細なタスクを割り当てたり、チームを厳密なタイムラインにコミットさせたりするのではなく、スプリントゼロの計画とバックログの精緻化に役立つ方向性を示すガイダンスを提供します。

他の選択肢は、この役割を果たしません。重要な意思決定ログ（選択肢A）は意思決定を記録しますが、ストーリーの順序付けをガイドするものではありません。要件の詳細化（選択肢

B)はインセプション中に行われますが、開発のために確定したストーリーを整理するものではありません。プロジェクトコミュニケーションマトリックス（選択肢）、包括的なテストスイート（選択肢）、変更管理戦略（選択肢）は、この段階ではバックログの整理をガイドするために使用されません。

概念的なスプリント計画は、ビジネスビジョンとアジャイル実行の間のギャップを埋めるもので、チームがスプリントゼロに移行する際に重要な成果物となります。

#### 質問: 2

インセプションの完了時: (2つ選択)

- A. テストケースは、エンドツーエンドのシステム機能をテストするために作成されます。
- B. 確認されたスコープと見積りが、関連するユーザーストーリーカードとともに完了します。
- C. ユーザーストーリーカードがいつ構築されるかを示す概念的なスプリント計画が確立されます。
- D. 文書化された受け入れ基準は、ストーリーカードの誰が、どのように、なぜ定義されているかを確認するためにテストされます。

正解: ([正解を表示します](#))

包括的かつ詳細な説明 250~300語)

Guidewire SurePathのインセプションフェーズは、実行ではなく、計画、調整、検証に重点を置いています。インセプションフェーズの完了時には、スコープと見積りの確定、そして概念的なスプリント計画という2つの重要な成果が達成され、オプションBとCが正しいものとなります。

確定したスコープと見積り (オプションB)により、関係者は、ハイレベルのユーザーストーリーカードに基づいて、提供される内容について共通の理解を持つことができます。これにより、開発開始前にリスクが軽減され、現実的な期待値を設定できます。

概念的なスプリント計画 (オプションC)は、ストーリーの構築時期に関するロードマップを提供します。タスクを割り当てたり、チームに詳細なスケジュールを委任したりすることはありませんが、デリバリーの順序付けに関する方向性を示すガイダンスを提供します。

残りのオプションは後のフェーズに関連しています。テストケースの作成 (オプションA)とテストによる受け入れ基準の検証 (オプションD)は、インセプションではなく、開発とテストの反復中に行われます。

#### 質問: 3

適切に作成され、適切にバージョン管理された要件ドキュメントは、次の可能性が高くなります。2つ選択してください。

- A. エンドユーザーの満足度を高める
- B. すべての関係者の変更管理を簡素化
- C. 要件のトレーサビリティをサポートする

#### D. 実行可能なソリューションの開発につながる

正解: B,C ([コメントを发表する](#))

包括的かつ詳細な説明:

Guidewire の方法論と一般的なビジネス分析のベスト プラクティスの文脈では、適切に記述された (明確で、アトミックで、一意に識別される) バージョン管理された要件を維持することで、次のような特定のプロセス上の利点が得られます。

\* 要件のトレーサビリティをサポート (オプション C):

トレーサビリティとは、要件の発生源 (ビジネス目標) から実装 (ユーザーストーリー) および検証 (テストケース) までを追跡する能力です。よく書かれた「ドキュメントは、要件に固有のIDを割り当て、

「バージョン管理」により、要件の特定の状態を特定のビルドまたはリリースまで追跡できるようになります。これにより、テストチームはロジックの正しいバージョンを検証できるようになります。

\* すべての関係者の変更管理を簡素化する (オプション B) :

変更管理は「ベースライン」の設定にかかっています。要件を厳密にバージョン管理 (例: v1.0 vs. v1.1) することで、プロジェクトチームは「デルタ」(変更点を容易に特定できます。これにより、変更がコスト、スケジュール、その他のシステムコンポーネントに与える影響の評価が大幅に容易になります。バージョン管理がなければ、関係者はスコープクリープを効果的に管理したり、意思決定の履歴を把握したりすることができません。

他のオプションがそれほど直接的ではない理由:

\* D. 実行可能なソリューションの開発につながる: 優れた要件定義は実行可能なソリューションの構築に貢献しますが、ドキュメントが完璧に記述されバージョン管理されていても、コストが高すぎたり技術的に不可能なソリューションを記述している場合があります。実行可能性は、ドキュメントのフォーマットだけでなく、実現可能性分析にも左右されます。

\* A. エンドユーザー満足度の向上: これは派生的なメリットです。ユーザーはドキュメント自体ではなく、動作するソフトウェアに満足します。

#### 質問: 4

アプリケーション ロジックの知識は、開発者以外の人々が次のビジネス ロジック要件を定義して文書化するのに役立ちます。(2 つ選択してください)

A. データ辞書

B. アプリケーション処理フロー

C. API

D. ルールの条件とアクション

正解: B,D ([コメントを发表する](#))

アプリケーションロジックの基礎を理解することで、ビジネスアナリストなどの非開発者は、ビジネスシナリオに応じてシステムがどのように動作するかを効果的に定義し、文書化することができます。正解は選択肢BとDです。

アプリケーションロジックを理解することで、アナリストはアプリケーション処理フロー (オプションB) を定義できるようになります。これには、データがシステム内をどのように移動するか、アクティビティがいつ作成されるか、ステータスがどのように変化するか、ワークフローのさまざまなポイントでどのようなアクションがトリガーされるかなどが含まれます。アナリストはこれらの知識を活用して、将来の状態を予測するプロセスを文書化し、Guidewireがエンドツーエンドのビジネスシナリオをサポートできるようにします。また、アナリストがルール条件とアクションを明確に定義するのにも役立ちます (オプションD)。アナリストは、作業の割り当て、メッセージの表示、検証の適用など、ルールをいつ適用し、どのような結果をもたらすかを頻繁に指定します。開発者がGosuでこれらのルールを実装する一方で、アナリストはビジネスロジックを正確に文書化する必要があります。

残りのオプションはあまり重要ではありません。データディクショナリ (オプションA) は、動作ではなくデータ構造を記述します。API (オプションC) は、通常、開発者やアーキテクトによって設計される技術的な統合構造です。

アプリケーションロジックの概念を理解することにより、アナリストは、あいまいさを減らし、実装の品質を向上させる、より明確で実用的な要件を作成します。

#### 質問: 5

各 Guidewire 製品には、製品内の共通プロセスを識別する \_\_\_\_\_ のセットがあります。

- A. アプリケーションガイド (ユーザーガイド)
- B. バックログの優先順位
- C. 設定ガイド
- D. テーマ

正解: [\(正解を表示します\)](#)

Guidewire InsuranceSuite製品は、アナリストや実装チームが機能の構成と提供方法を理解するのに役立つ、一貫したビジネスプロセスパターンに基づいて設計されています。これらの共通プロセスパターンはテーマによって識別されるため、オプションDが正解となります。

テーマは、Guidewire製品内の関連する機能を高レベルでグループ化したものです。例えば、ポリシーライフサイクル管理、保険金請求処理、請求業務、顧客アカウント管理などが挙げられます。テーマは、アナリストがビジネスプロセスとGuidewireの機能の対応関係を迅速に理解し、製品開発や要件定義の過程で製品機能を体系的に検討するのに役立ちます。

テーマは、インセプションやエラボレーションといったプロジェクトの初期段階において特に重要です。なぜなら、テーマは要件定義や議論の枠組みとなるからです。テーマを中心に議論を進めることで、アナリストはエンドツーエンドのプロセスを網羅し、重要な機能の見落としを防ぐことができます。

他のオプションは、この目的には適していません。アプリケーションガイド (オプションA) と構成ガイド (オプションC) はドキュメントアーティファクトであり、共通プロセスを識別するためのメカニズムではありません。バックログの優先順位 (オプションB) はアジャイル計画に関連するものであり、製品構造を説明するものではありません。

テーマを理解することで、アナリストは関係者や技術チームと共通の言語で話すことができ、要件が Guidewire の製品設計と意図された使用法と一致することを保証できます。

#### 質問: 6

商業海洋アプリケーションのアナリストが、クレーム割り当てに関する既存の Gosu ルールをレビューし、その構造を理解しようとしています。Gosu ルールの構造と機能を構成する重要な要素は何ですか？

- A. 定義された条件が true と評価された場合に実行されるアクション。
- B. UI 統合に関連するすべての PCF ファイルの包括的なリスト。
- C. ルールの適用性を決定する固定された値のセット (タイプリスト)。
- D. ルールが操作されるビジネス オブジェクトまたはエンティティ。
- E. ドラッグ アンド ドロップ ルール作成用のグラフィカル ユーザー インターフェイス (GUI)。

正解: A,D ([コメントを发表する](#))

Guidewire InsuranceSuite では、Gosu ルールは、請求の割り当て、検証、適格性チェック、ワークフローの決定といったビジネスロジックを実装するための基盤となるメカニズムです。アナリストの観点から見ると、Gosu ルールの中核構造を理解することは、システムの動作を解釈し、ビジネス要件を検証する上で非常に重要です。

Gosu ルールは基本的に2つの必須コンポーネントで構成されます。ルールが適用されるビジネスオブジェクト (エンティティ) と、定義された条件が真と評価されたときに実行されるアクションです。したがって、選択肢AとDが正解です。

各ルールは、クレーム、エクスポージャー、ポリシー期間などの特定の Guidewire エンティティに関連付けられています。このエンティティは、ルールのスコープとコンテキストを定義し、評価に使用できるデータフィールドと属性を決定します。関連付けられたエンティティがない場合、ルールはシステム内で運用上のコンテキストを持ちません。

2つ目の重要な要素はアクションです。ルールの条件が真と評価された場合、アクションはシステムが行うべき処理を指定します。クレーム割り当てルールでは、通常、特定のグループ、キュー、またはユーザーへのクレームの割り当てがこれに含まれます。条件はルールの適用タイミングを制御しますが、アクションは結果を決定するため、ルールの中核となる構成要素となります。

残りのオプションは、Gosu ルールの必須コンポーネントではありません。PCF ファイル (オプションB) はユーザーインターフェースの設定に関連します。タイプリスト (オプションC) はルール内で参照できますが、構造化コンポーネントではありません。Guidewire では、Gosu ルール作成用のグラフィカルなドラッグアンドドロップインターフェース (オプションE) は存在しません。

質問: 7

SurePath ベスト プラクティスによると、プロジェクトの開始フェーズで重要なアクティビティは次のどれですか? (2 つ選択)

- A. 基本構成
- B. ベネフィットマッピングワークショップ
- C. ソリューションの構築
- D. バックログを見積もる
- E. 詳細な要件

正解: ([正解を表示します](#))

包括的かつ詳細な説明 (250~300語)

Guidewire SurePath の Inception Phase では、ソリューションの構築ではなく、調整、計画、検証に重点を置いています。

メリット マッピング ワークショップ (オプション B) は、ビジネス目標を期待される成果と整合させ、価値の提供に優先順位を付けるために使用されます。バックログの見積もり (オプション D) は、もう 1 つの重要なアクティビティであり、チームがプロジェクトの早い段階で範囲、労力、実現可能性を理解するのに役立ちます。

基礎的な構成とソリューションの構築は後で行われますが、要件の詳細化は開始フェーズと反復フェーズにまたがりますが、主要な開始アクティビティではありません。

質問: 8

Gosu のルールは次のとおりです。

- A. trueまたはfalseを評価するビジネスルール
- B. ビジネスオブジェクトまたはルートオブジェクト
- C. 真または偽に評価される条件
- D. 条件が真の場合に実行される監査。条件が偽の場合は何も起こりません。

正解: ([正解を表示します](#))

包括的かつ詳細な説明 :

Gosuルール (特にGuidewire Studioで管理されるビジネスルール)は、ビジネスポリシーを実装するために使用される構造化されたロジックコンポーネントです。技術文書とアナリスト向けトレーニングによると、1つのGosuルールは次の3つの基本コンポーネントで構成されています。

\* ルートオブジェクト (オプションB) すべてのルールセットは、「ルートオブジェクト」と呼ばれる特定のエンティティタイプ (例クレーム、ポリシー、エクスポージャー) に対して定義されます。このオブジェクトは、ルールが評価および変更するデータコンテキストを提供します。

\* 条件 (オプションC) これはシステムが評価するブール式 (Gosuで記述) です。TrueまたはFalseを返す必要があります。条件がTrueと評価された場合、ルールがトリガーされ、Falseの場合、システムは次のルールに進みます。

\* アクション オプションD) : 条件満たされた場合にのみ実行される実行可能ロジックです。必要な更新、割り当て、または作成を実行します。

\* 選択肢Dに関する注記：問題文中の「..を実行する監査」という記述は、多くの試験問題集で確認されている誤記です。Guidewireの正しい用語は「アクション」です。しかし、提示されている説明（条件が真の場合に実行...）はアクション構成要素を完璧に表しており、誤字脱字はあるものの、解答として正しい部分です。

オプション A が間違っている理由:

\* A. true または false を評価するビジネスルール: これは冗長または循環的な定義です。条件は true または false に評価されますが、ルール自体は評価されません。ルール」は、ルール、条件、アクションのコンテナです。

### 質問: 9

ユーザーストーリーカードを何らかの形で参照するプロジェクトライフサイクルの各フェーズを2つ選択してください。

- A. プレインセプション
- B. サポートと成功
- C. デプロイメント
- D. インセプション

正解: [\(正解を表示します\)](#)

包括的かつ詳細な説明:

Guidewire プロジェクト ライフサイクルでは、ユーザー ストーリー カード (またはそれを基にした高レベルの概念) は主にプレインセプションとインセプションで利用されます。

\* インセプション オプションD) ユーザーストーリーカードの作成、詳細化、そして最終決定を行う主要なフェーズです。インセプションの主な目的は、システムの動作 (ビジネスルール、UI、統合) を記述した詳細なユーザーストーリーの「バックログ」を作成し、開発者に見積もりを依頼することです。

\* プレインセプション オプションA) プレインセプションフェーズでは、チームはプロジェクトのスコップと価値を定義します。まだ詳細な「カード」は作成されていないかもしれませんが、ユーザーストーリー形式 (例:

プロジェクトの要件とMVP (Minimum Viable Product: 最小限の機能を持つ製品) を定義するために、プロジェクトチームは「ピックアップ」または「主要ユーザーストーリー」と呼ばれる、複数の段階に分かれてプロジェクトを設計します。これらのストーリーは、プロジェクトの規模を見積もり、初期ロードマップを作成する際に「参照」されます。

他のオプションが間違っている理由:

\* B. サポートと成功: ユーザー ストーリーはサポート (機能強化や不具合の対応) 中に実際に使用されますが、「サポート」は通常、プロジェクト (実装) ライフサイクルとは異なる運用ライフサイクルと見なされます (質問 21 で確認されているように、「メンテナンス」はプロジェクト フェーズではありませんでした)。

\* C. デプロイメント :デプロイメントフェーズは、確認済みのソフトウェア (コードとデータ) を本番環境へ技術的に移行することに重点を置きます。「リリースノート」にはストーリーが参照される場合がありますが、このフェーズ自体は、ストーリーカードの詳細化や定義ではなく、デプロイメントプランとランブックによって推進されます。

#### 質問: 10

以下のリストからユーザーストーリーカードのベストプラクティスを選択してください。(2つ選択してください)

- A. UI モックアップタブにフィールド要件を含める
- B. ストーリーカードが公開された後に要件番号を変更する
- C. トレーサビリティのための要件番号を含める
- D. チームですべての要件を確認する

正解: C,D ([コメントを发表する](#))

Guidewire SurePath は、ユーザー ストーリー カードを文書化する際に、一貫性、明確さ、追跡可能性を重視します。

これらの原則をサポートする2つの重要なベストプラクティスは、トレーサビリティの要件番号を含めることと、チームと共にすべての要件を確認してオプションCとDを修正することです。

要件番号 (オプションC) を含めることは、エンドツーエンドのトレーサビリティを実現するため、重要なベストプラクティスです。要件番号により、アナリストはビジネス要件をユーザーストーリー、受け入れ基準、テストケース、不具合、そして最終的な成果物に結び付けることができます。これは、スコープ管理と監査可能性が不可欠な、規制の厳しい保険環境や大規模なGuidewireプログラムにおいて特に重要です。

すべての要件をチームでレビューする (オプションD) ことで、ビジネスアナリスト、開発者、品質アナリストの間で共通の理解が確保されます。これらのレビューにより、ギャップ、想定、曖昧さを早期に特定し、プロジェクト後期における手戻りや不具合を削減できます。この協働的なアプローチは、アジャイルとGuidewireが重視する早期検証の考え方と一致しています。

残りのオプションはベストプラクティスではありません。フィールドレベルの要件は、UI モックアップのタブに埋め込むのではなく、要件セクションまたはルールセクションに文書化する必要があります (オプションA)。公開後に要件番号を変更すると (オプションB)、トレーサビリティが損なわれ、依存するアーティファクト間で混乱が生じます。

#### 質問: 11

Guidewireトレーニングリソースには、Guidewire製品のすぐに使える機能に関するコンテンツが含まれています。見積書の作成方法に関する詳細情報を入手するには、どのウェブサイトアクセスすればよいですか？

- A. <http://www.guidewire.com>
- B. <https://educationmarketplace.guidewire.com>
- C. <https://marketplace.guidewire.com>

D. <http://education.guidewire.com>

正解: ([正解を表示します](#))

Guidewireは、見積もり、保険証券の発行、保証、更新といったコアビジネスプロセスを含む、すぐに使える (OOTB) 機能を説明する体系的なトレーニングリソースを提供しています。このトレーニングコンテンツにアクセスするための適切なプラットフォームは Guidewire Education Marketplaceであるため、選択肢Bが正解です。

エデュケーション・マーケットプレイスは、アナリスト、開発者、プロジェクトチームメンバー向けのGuidewire公式学習ポータルです。Guidewire製品の機能的・技術的な仕組みを解説する、役割別のコース、ビデオ、ドキュメント、ハンズオン学習パスが用意されています。見積りに関するトレーニングモジュールでは、OOTBワークフロー、必要なデータ要素、検証ルール、システムの動作について解説します。

他のオプションは、この目的には適していません。Guidewireのメインウェブサイト (オプションA)では、企業情報とマーケティング情報を提供しています。Guidewire Marketplace (オプションC)は、パートナーソリューションと拡張機能に重点を置いています。

従来の教育 URL (オプション D) は、トレーニング マテリアルの主要なアクセス ポイントではなくなりました。

質問: 12

ビジネス ケースの完了、ビジネス リソースのトレーニングと特定はすべてどのフェーズの成果物ですか。

- A. 安定化
- B. 開発
- C. インセプション
- D. 開始前

正解: ([正解を表示します](#))

包括的かつ詳細な説明 (250~300語)

開始前フェーズは、Guidewire導入における最も初期のフェーズであり、組織の準備とプロジェクトの正当性に重点が置かれます。したがって、オプションDは正解です。

開始前段階では、投資を正当化し、期待される利益を定義するためのビジネス ケースが完成します。

主要なビジネスリソースを特定し、トレーニングを実施することで、組織がプロジェクトに効果的に参加できるよう準備を整えます。このフェーズでは、スポンサーシップ、資金承認、そして初期ガバナンスを確立します。

開始、発展、安定化は、この基礎作業が完了した後に発生するため、この質問では不正確となります。

質問: 13

次の例外を除き、すべてが適切な要件の特徴です。

- A. 機能
- B. 検証可能
- C. クリア
- D. 追跡可能

正解: ([正解を表示します](#))

Guidewire InsuranceSuiteプロジェクトにおいて適切に記述された要件は、実装と検証を確実に行うために、複数の品質基準を満たす必要があります。正解はオプションA「機能」です。機能は優れた要件の特性ではないためです。

優れた要件は明確であり、理解しやすく、曖昧さがありません。明確であることで、ビジネスアナリスト、開発者、そしてテスターは要件を一貫して解釈できます。また、要件は検証可能である必要があります、テストや検査を通じて要件が満たされていることを確認できる必要があります。

もう一つの重要な特性はトレーサビリティです。トレーサビリティのある要件は、ビジネス目標にリンクし、設計要素、テストケース、実装成果物へと展開できます。トレーサビリティは、規制の厳しい保険環境において不可欠であり、スコープ、変更、監査の管理に役立ちます。

しかし、「フィーチャ」は要件の品質属性ではありません。フィーチャとは、1つ以上の要件を通じて提供される機能または性能の集合です。要件はフィーチャの側面を記述できますが、「フィーチャ」であることは、要件がどの程度適切に記述されているかを示すものではありません。

これらの特性を理解することで、アナリストはやり直し作業を減らし、配信の予測可能性を向上させ、Guidewireの実装を成功に導く、より高品質なドキュメントを作成できるようになります。

#### 質問: 14

アプリケーションロジックの変更が必要かどうかをアナリストが判断するのに役立つアクティビティはどれですか(2つ選択してください)。

- A. プロセスを改善するために、オブジェクトやアクティビティを自動的に作成する必要があるかどうかを特定します。
- B. 入力されたデータに検証が必要かどうか、また警告やメッセージを表示するかどうかを検討します。
- C. ウィジェットを調べて、Gosuコードの正確性を検査します。
- D. 各画面のフィールドを確認して、追加または削除するデータモデルエンティティを特定します。

正解: ([正解を表示します](#))

Guidewire InsuranceSuiteのアプリケーションロジックは、自動化、検証、ビジネスルールなど、システムの動作を統制します。ビジネスアナリストは、ロジックを実装するわけではないものの、このロジックの変更が必要な時期を判断する上で重要な役割を果たします。

オブジェクトまたはアクティビティを自動的に作成する必要があるかどうかの判断 (オプションA)は、アプリケーションロジックに直接関係します。例えば、特定の条件に基づいてアクティビティ、メモ、または割り当てを自動的に作成するには、ビジネスルールまたはワークフローロジックが必要です。

検証や警告メッセージが必要かどうかを検討する (オプションB)ことは、アプリケーションロジックの変更を示すもう1つの重要な指標です。データ検証ルール、警告メッセージ、エラー処理はすべてロジックを通じて実装されており、アナリストによって明確に定義される必要があります。

残りのオプションはアナリストレベルのロジックアクティビティではありません。Gosuコードの検査 (オプションC)は開発者の責任です。エンティティの追加または削除のための画面フィールドの確認 (オプションD)は、アプリケーションロジックの動作ではなく、データモデルとUIの変更に関連します。

アナリストは、自動化と検証のニーズに重点を置くことで、Guidewire アプリケーションがビジネスの期待どおりに正しく一貫して動作することを保証するのに役立ちます。

#### 質問: 15

ストーリー ハドルは機能要件の詳細を明確にするために使用され、通常はどの 3 人のプロジェクト チーム メンバー間のコラボレーションが必要ですか?

- A. 主題専門家
- B. 品質アナリスト
- C. プロダクトオーナー
- D. ビジネスアナリスト
- E. 開発者

正解: ([正解を表示します](#))

#### 質問: 16

\_\_\_\_\_は、カスタマイズして Guidewire 製品に追加できるソリューションの開始点を提供します。

- A. ユーザーストーリーカード
- B. 拡張パック
- C. 製品ドキュメント
- D. アクセラレータ

正解: ([正解を表示します](#))

包括的かつ詳細な説明:

アクセラレータ (オプション D) は、Guidewire またはそのパートナーによって提供される構築済みソリューション (Guidewire Marketplace で入手可能) を表す正しい Guidewire 用語です。

\* 定義: アクセラレータは、特定のビジネス上の問題や統合の「出発点」を提供するソフトウェア資産です (例: 「ロンドン市場アクセラレータ」や特定の「支払いゲートウェイ アクセラレータ」)。

\* 目的 :カスタマイズできるように設計されています。コア製品（構成はお客様自身で行います）やSaaSサービス（利用はお客様自身で行います）とは異なり、アクセラレータは多くの場合、ダウンロードしてインストールし、特定のプロジェクトのニーズに合わせて変更するコードまたは構成です。厳密な意味での「プラグアンドプレイ」ではなく、基礎となるコードを提供することで開発を加速します。

他のオプションが間違っている理由:

\* B. 拡張パック: 拡張パック」（現在では単に拡張機能または標準ベースのテンプレートと呼ばれることが多い）は、一般的に、それほど多くの機能を必要としない、検証済みの小規模なアドオンを指します。

アクセラレータとしての「カスタマイズ」。しかし、アクセラレータの教科書的な定義は「リビューシヨンの出発点」です。

\* A. ユーザーストーリーカード:これらはドキュメント成果物であり、ソフトウェアソリューションではありません。

有効的なInsuranceSuite-Analyst問題集はJPNTTest.com提供され、InsuranceSuite-Analyst試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新InsuranceSuite-Analyst試験問題集を提供します。JPNTTest.com InsuranceSuite-Analyst試験問題集はもう更新されました。ここでInsuranceSuite-Analyst問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/InsuranceSuite-Analyst-mondaishu> 72問、30%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 17

ある保険会社は、Guidewire Cloud プラットフォーム上で、比較的標準的な新しい保険商品ラインを迅速に立ち上げる必要があります。プロジェクト関係者は、カスタム設定を最小限に抑え、Guidewire の標準機能とコンテンツを最大限に活用することで、導入の労力とコストを削減したいと考えています。Guidewire Marketplace で提供されている既成コンテンツの中で、新しい商品ラインの導入にあたり、標準化されたすぐに使える資産を提供するのに最も適したものはどれでしょうか。

- A. ガイドワイヤ推定モデル
- B. GO製品
- C. 高レベル設計ドキュメント
- D. 拡張パック
- E. アクセラレータ

正解: ([正解を表示します](#))

保険会社がカスタマイズを最小限に抑えながら、新しい標準的な保険商品ラインを迅速に立ち上げたい場合、ガイドワイヤは、事前に構築された承認済みコンテンツの活用を強く

推奨します。このシナリオに最も適したソリューションはGO Productsであるため、オプションBが正解です。

GO製品は、Guidewireが承認した、すぐに使用できる製品モデルコンテンツを厳選したコレクションで、Guidewire Marketplaceからご利用いただけます。業界標準に準拠した標準化された補償範囲、条件、除外条項、条項、製品構造を備えています。GO製品は、リスク、コスト、複雑さを軽減しながら、製品導入を迅速化することを目的として特別に設計されています。

GO製品を使用することで、プロジェクトチームは白紙の製品モデルから始める必要がなくなります。アナリストは既存のコンテンツと照らし合わせて要件を検証し、真の差別化要因に議論を集中させ、詳細化と構成のタイムラインを大幅に短縮できます。これは、標準機能を活用し、カスタム構成を最小限に抑えるという関係者の目標に直結します。

その他のオプションは適切ではありません。Guidewire見積モデル (オプションA)は計画と見積りをサポートしますが、製品構成には対応していません。高レベル設計ドキュメント (オプションC)はドキュメント成果物です。

拡張パック (オプションD)は通常、完全な製品モデルではなく、機能強化を提供します。アクセラレータ (オプションE)は実装アクティビティを支援しますが、標準化されたすぐに使用できる製品コンテンツは提供しません。

速度、標準化、アップグレード可能性に重点を置いた Guidewire Cloud 実装の場合、GO製品は最も効果的で戦略的に調整された選択肢となります。

#### 質問: 18

InsuranceSuiteでは、ページ構成フォーマット (PCF) ファイルによってユーザーインターフェースが制御されます。PCFファイルで使用される一般的なウィジェットの例は次のうちどれですか？ (2つ選択してください)

- A. 名前値ビュー
- B. 詳細ビュー
- C. メニュービュー
- D. カード
- E. テキストビュー

正解: A,B ([コメントを发表する](#))

なぜこれが正しいのか

\* NameValueView は、ラベルと値のペア (ポリシー属性やクレーム属性など) を表示するために使用される非常に一般的な PCF ウィジェットです。

\* DetailView は、構造化されたレイアウトでエンティティの詳細情報を表示するために使用されるもう 1 つのコア PCF ウィジェットです。

他の人が選ばれない理由

\* PCF には MenuView が存在しますが、選択肢が 2 つに制限されている場

合、NameValueView と DetailView が Guidewire トレーニングで最も基本的で頻繁に参照されるウィジェットです。

\* Cardis は Guidewire PCF ウィジェットではありません。

\* TextView は、InsuranceSuite UI アーキテクチャの標準のスタンドアロン PCF ウィジェットとしては使用されません。

#### 質問: 19

Guidewire Cloudプロジェクトでは、クレーム対応業務を行う請負業者の認証ステータスを追跡する機能を実装する必要があります。ステータスは定義済みのリストから選択する必要があり、ユーザーは認証に関する自由形式のメモを入力する必要があります。Guidewire データモデルに関する理解に基づき、これらの要件を満たすために、ベースデータモデル構造に最も必要となる可能性が高い2つの変更点は何ですか？

- A. 画面の関連PCFファイルを更新します
- B. 請負業者認定専用の新しいエンティティを追加します
- C. 特定の認証タイプ用の.TTXファイルを作成します。
- D. 特定の認証タイプを定義するためのタイプリストを作成する
- E. 新しいフィールドを追加します（例テキストまたはタイプキー）
- F. 2つの新しいラベルを追加します（例textまたはtypekey）

正解: **D,E** ([コメントを发表する](#))

Guidewireデータモデルを拡張する場合、アナリストはデータ構造の変更とUIまたは表示形式の変更を区別する必要があります。このシナリオでは、ビジネス要件は、定義済みのリストから選択した認定ステータスと、その認定に関連するフリーテキストのメモを保存することです。

正しいデータモデルの変更は、タイプリストを作成し、新しいフィールドを追加して、オプションDとEを正しくすることです。

タイプリスト (オプションD)は、認証ステータス（例：認証済、期限切れ、保留中）などの選択可能な値の事前定義済みセットを表すためのGuidewire標準のメカニズムです。タイプリストはデータの一貫性を確保し、ローカライズをサポートし、ルール、検証、UIコンポーネントとスムーズに統合できます。

さらに、データモデルに新しいフィールドを追加する必要があります (オプションE)。通常、1つのフィールドは認証ステータスのタイプリストを参照するタイプキーであり、もう1つはフリーテキストの認証メモを格納するテキストフィールドです。これらのフィールドは、設計に応じて、適切な既存のエンティティ（請負業者関連エンティティや請求関連エンティティなど）に追加されます。

その他のオプションはデータモデルの変更ではありません。PCFファイルの更新 (オプションA)はUIに影響しますが、データの保存方法には影響しません。複雑で繰り返し可能な認証構造がない限り、新しいエンティティの作成 (オプションB)は不要です。.ttxファイル (オプションC)はタイプリストの定義には使用されません。ラベル (オプションF)は表示テキストを制御しますが、データの保存には影響しません。

#### 質問: 20

ガイドライン原則が要件収集プロセスにとって重要である理由を最もよく説明している記述はどれですか？

- A. プロジェクトチームが、どの要件がプロジェクトの成功に役立つかを客観的に判断するのに役立ちます。
- B. 優先順位の選択を誰が行うべきかを示します。
- C. 要件収集によってソリューションが定義されるようにするために必要なすべてのプロジェクト詳細を提供します。
- D. 主要な関係者が要件収集プロセスに関与していることを確認します。

正解: ([正解を表示します](#))

ガイドラインとは、Guidewireプロジェクトの早期段階で確立される基本方針であり、要件収集から提供まで、客観的で価値主導の意思決定をサポートします。正解は選択肢Aです。ガイドラインは、要件がプロジェクトの成功に貢献するかどうかを判断するための共通の視点を提供することで、プロジェクトチームが要件を一貫して評価するのに役立ちます。例えば、「カスタマイズの前に構成する」や「規制遵守を優先する」といった原則は、アナリストや関係者が提案された要件が戦略目標と一致しているかどうかを評価するのに役立ちます。

これらは、優先順位付けの権限を与えるもの（オプションB）、詳細な要件を置き換えるもの（オプションC）、ステークホルダーの参加を保証するもの（オプションD）ではありません。むしろ、詳細化やスコープの議論においてトレードオフが生じた場合に、意思決定のフィルターとして機能します。

Guiding Principles を使用することで、アナリストは価値の低いリクエストやレガシー主導のリクエストに異議を唱え、Guidewire のベスト プラクティスと長期的なビジネス価値に合致するソリューションに向けて会話を進めることができます。

質問: 21

ユーザー ストーリー カードを文書化する方法について、ビジネス アナリストに具体的なガイダンスを提供するリソースはどれですか？

- A. Miro - ビジネスアナリストハンドブック
- B. SurePath 資料 - ユーザーストーリーハンドブック
- C. SurePath 資料 - ユーザーストーリーガイド
- D. Miro - ユーザーストーリージョブエイド

正解: ([正解を表示します](#))

Guidewire SurePathメソッドでは、高品質なユーザーストーリーカードを作成することがビジネスアナリストの重要な責任です。Guidewireは、これをサポートするために、実装全体にわたって一貫性と明確性を確保するために、ストーリーをどのように作成、構造化、洗練すべきかを定義する標準化された資料を提供しています。この目的に適したリソースは「SurePath資料 ユーザーストーリーハンドブック」であり、選択肢Bが正解です。

ユーザーストーリーハンドブックは、Guidewireプロジェクトに携わるビジネスアナリスト向けに特別に設計されています。ユーザーストーリーのドキュメント化方法について、推

奨されるストーリー形式、必須要素、Guidewireのベストプラクティスに沿った事例など、詳細なガイダンスを提供します。また、ビジネスの意図を捉え、スコープの境界を定義し、アジャイルデリバリーをサポートする明確でテスト可能な受け入れ基準を作成する方法についても解説しています。

このリソースは、ユーザーストーリーをGuidewireの標準機能 (OOTB) と連携させることで、アナリストが不要なカスタマイズを回避し、要件が価値主導型であることを保証するのに役立ちます。開発段階に入る前に、「準備完了」ストーリーを構成する要素について共通の理解を確立することで、チーム間の一貫性をサポートします。

その他の選択肢は正しくありません。Miroベースのリソース (選択肢とD) はコラボレーションや可視化ツールとして使用できますが、ユーザーストーリーを文書化するためのGuidewireの公式ガイダンスではありません。「ユーザーストーリーガイド」 (選択肢) はSurePathの公式リソースではありません。正式な参考資料はユーザーストーリーハンドブックです。

SurePathUser ストーリー ハンドブックを使用することで、ビジネス アナリストは、ストーリーが適切に構造化され、アジャイルの原則に準拠し、詳細化、ストーリー ハドル、および Guidewire InsuranceSuite 内での正常な実装の準備が整っていることを確認できます。

#### 質問: 22

開発者以外の方が UI コンポーネントとアーキテクチャの基本を理解することが重要なのはなぜですか？

- A. UIの変更に関するより良い意思決定につながる
- B. テストスクリプトを書くときに役立ちます
- C. アーキテクチャと一貫性のあるUI変更要求を行うのに役立ちます
- D. 製品を設定する必要があります

正解: ([正解を表示します](#))

包括的かつ詳細な説明 (250~300語)

Guidewireのプロジェクトでは、ビジネスアナリストやプロダクトオーナーといった非開発者がUI関連の意思決定に影響を与えることがよくあります。UIコンポーネントとアーキテクチャの基礎知識があれば、情報に基づいた現実的な要求を策定できるため、オプションAとCが適切となります。

UIアーキテクチャを理解することで、アナリストはUI変更 (オプションA) に関するより適切な意思決定を行うことができ、提案された変更が標準的なナビゲーションパターンとユーザビリティ原則に準拠していることを確認できます。また、Guidewireアーキテクチャ (オプションC) と整合性のあるUI機能強化をリクエストできるため、手戻りや技術的負債を削減できます。

テスト スクリプトの作成 (オプション B) にはアーキテクチャの知識は必要ありません。また、開発者以外のユーザーは製品の構成を担当しません (オプション D)。

この理解により、コラボレーションが改善され、配信が高速化され、Guidewire の カスタマイズよりも構成を重視する」という理念がサポートされます。

質問: 23

Guidewire Cloudプラットフォームのメジャーアップグレード中に、お客様の本番環境で予期せぬダウンタイムが発生しました。Guidewire Cloud Standardsを厳格に遵守していれば、この問題を軽減できたと考えられる最も可能性の高い理由は何でしょうか？

- A. クラウド標準に従うことで、Guidewire Cloud プラットフォームのアップグレード時に顧客の介入が不要になります。
- B. クラウド標準では、プロセス中に問題が検出された場合、アップグレードを自動的にロールバックするメカニズムが提供されます。
- C. クラウド標準に準拠することで、顧客固有のカスタマイズが新しいプラットフォームバージョンと互換性を持つことが保証され、アップグレードの失敗のリスクが軽減されます。
- D. クラウド標準により、すべてのプラットフォーム アップグレードのタイミングと期間が規定され、顧客がスケジュールを制御できるようになります。

正解: C ([コメントを发表する](#))

Guidewire Cloud Standardsは、顧客環境のアップグレード性、安定性、信頼性を確保するように設計されています。この標準に準拠することで予期せぬダウンタイムを軽減できた可能性が最も高いのは、オプションCです。

クラウド標準に従うことで、顧客固有のカスタマイズはプラットフォームのアップグレードと互換性を維持します。

これらの標準は、サポートされていないカスタマイズ パターンを制限し、新しいプラットフォーム バージョンをスムーズに適用できるようにするベスト プラクティスを適用します。

その他のオプションは正しくありません。クラウド標準では、お客様の関与が排除されません (オプションA)、自動ロールバックが保証されません (オプションB)、アップグレードスケジュールをお客様が制御できません (オプションD)。

有効的なInsuranceSuite-Analyst問題集はJPNTTest.com提供され、InsuranceSuite-Analyst試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新InsuranceSuite-Analyst試験問題集を提供します。JPNTTest.com InsuranceSuite-Analyst試験問題集はもう更新されました。ここでInsuranceSuite-Analyst問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/InsuranceSuite-Analyst-mondaishu> 72問、30%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」